



Since 1937

CEFニュース

No.159 2026. 春号

このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、天におられるあなたがたの父のみこころではありません。マタイ 18:14

「日曜学校から教会開拓へ」



金野 正樹

「わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」
マタイ 28章 20節

私は今、二つ目の開拓地・茨城県で働いています。元々エンジニアで会社員の私は、会社勤めのかたわら、家族挙げて開拓伝道に取り組んできました。それは私が願ったからではなく、神さまのお働きによってでした。

最初の開拓地は千葉県の関宿町（現在の野田市）でした。私が住居を購入したのがその町だったのです。ところが、その町は明治時代にはカトリックの教会もありセミナーもあったというところでしたが、私たちが行った時は未伝地となっていました。所属教会までは車で片道一時間かかりました。これでは信仰を守っていくのは難しいと思っていた時、子どもの友人の親御さんから話がありました。「金野さんたちはクリスチャンでしょう？ 日曜学校は知っていますか？」「ああ。私たちは夫婦とも日曜学校の先生ですよ。」「あ、それだったら、この町で日曜学校をしてもらおうことはできませんか？ うちの子ども達にも日曜学校で学ばせたいんです。」

私は困りました。なぜなら、所属教会では私は教会学校の校長をしていたため、毎週日曜日9時には教師祈禱会を導かないといけません。それでこう言いました。「やれないことはないですが、日曜朝7時から一時間で良ければできますが。」「ウワァ。それはウレシイ！はい。7時からで大丈夫なのでお願いします。」朝7時と言えば引き下がると思ったのに、かえって喜ばれたので、私は引くに引けなくなりました。家内と二人で始めることにしました。

毎週、寒い冬の朝も、子ども達は元気にやって来ます。親御さんたちも一緒に来て参加します。我が家が手狭になった時、土地の町会議員さんが来て「とても素晴らしいお働きをしていますね。地域でも喜ばれています。ここは手狭のようですから、地域の集会場を格安でお貸ししましょうか？」と申し出ていただきました。地域の集会場、それは神社の集会場でした。一瞬躊躇しましたが、町会議員さんのにこやかなお顔に触れ、「ありがとうございます。ではお借りします。」という運びとなったのです。

朝7時だと、子ども達は地域のサッカークラブや野球クラブなどの子も、クラブが始まる前の時間なので参加でき、集会場まで来る親御さんが朝ご飯をそこで子どもに食べさせてクラブ活動へと連れて行けると言っていて、なお喜ばれ、子どもの数が40人を超えるほどになったのです。

そして、集まっていた上の子たちが小学校卒業時期になったため、中学校になったら大人扱いしてあげたいという思いが出ました。また、私がお社に行っている間に家内は地域の婦人達に聖書を教え始めました。その人達の中に、信仰を持ちたい人も出てきたのです。そこで、比較的近い町の教会にそんな人達を紹介したいと言っていくつか教会の門を叩いたのですが、導いているあなたたちがここに転会しないなら、求道者を押しつけられるのはごめんです、といわれてほとんど困りました。そこで、恵泉キリスト教会（家内の母教会で、私も学生時代に3年間お世話になった）の千田次郎先生にご相談しました。すると先生は、「あなたたちで教会を始めたらいんじゃないですか？」と思ひもかけないお勧めをしてくださったのです。先生も側面援助をしてくださるというので、二人で、いや家族で取り組むことになりました。小学高学年の長女、中学年の長男と次女、低学年の三女が自分たちなりに出来る伝道をして、お友だちを誘い、家内は婦人達をまとめてくれました。私は月～土は会社（のちに会社は、土・日が休みになった）、日曜日は家の教会という形で働きました。そして、教会の形が整いだし、30人以上の群れとなることが出来たのです。まさに、神さまのお働きと言うしかありません。（日本児童福音伝道協会中央委員長、恵泉キリスト教会小美玉チャペル牧師）

2025年 本部TCEレベル集中コース



TCEレベルの様子

2025年9月、本部で6年ぶりのTCEレベル1集中コースが開催されました。今までは5月のゴールデンウィークに行われていたため、9月に開催されたのは初めてでした。テキストが改訂され、翻訳、校正、印刷、製本、またパワーポイントの変更と、本部ではめまぐるしい作業が続いた後、コースが開催されました。24年にはIOT（TCEレベル1の教師訓練者）のための更新コースも終え、準備をしていましたが、コロナ禍を経て社会の事情も大きく変化し、学生さんが集まるかどうか本当に主に祈りました。けれど主なる神さまは本当に真実なお方です。背後の皆様への祈りにも支えられ、6名の学生さんたちが各地から送られてきました。長い間待っていて下さった方、直前に決心された方、年齢も様々でしたが、互いに助け合い祈り合って、33時間のコースを全員合格で終了し、今は目前に迫る実習の提出期限を前に励んでおられます。キッチンのボランティアの方も備えられて、毎食おいしい食事をたっぷりいただきました。さまざまなボランティア（キッチン、翻訳、IOT）の方々を支えられたコースでした。本当に感謝します。また、祈祷会にはCEFアジア太平洋地区主事のソ・サムエル師が来日し、学生やスタッフはチャレンジが与えられました。今年は5月のゴールデンウィークにTCEレベル1集中コースを予定しています。来年はTCEレベル2（霊的成長がテーマ）を開催予定です。今年、多くの方が学ばれて、昨年受講された方々も含めて、来年のレベル2を学ぶことができますようにと心から願っています。どうぞお祈りください。



ソ・サムエル夫妻と

TCEレベル1 子どもを効果的に教えるコース

■ CEF 茨城本部

・日時：2026年5月4日（月・祝）～5月8日（金）
 ・受講資格：15歳以上の新生したクリスチャンで、当協会の方針と信仰声明に同意でき、牧師の推薦のある方。全日程を受講できる方に限ります。詳しくはチラシをご覧ください。

CPC（クリスマス・パーティー・クラブ）の証

2025年は94ヶ所で教材「逆さまのクリスマス」を使ってクリスマス・パーティー・クラブ（CPC）が開かれ、530人の子どもに福音が伝えられ、80人が救われました。開いた皆さまのお証しをご紹介します。



★多くの近隣の子どもたちが教会に集まり、共に主のご降誕を祝いました。聖書人物ビンゴや自作映像クイズを楽しんだ後、「逆さまのクリスマス」を通して福音を伝えました。時間や集中力を考慮して内容をコンパクトにしましたが、子どもたちの理解も反応も良かったと感じています。招きには7名が応答し、特筆すべきは全員が近隣の子どもたちでした。うち4名は以前からフォローしていた子どもたちで、残る3名は今回初めてイエスさまを救い主と信じました。特にそのうち2名はサマーフェスティバルで途中帰宅した子どもたちで、神様が見えないところで導いてくださったことを覚え、心から感謝し主を賛美します。（H.K.）

★12月6日のクリスマス会では、子どもたちと降誕の人形劇を行うことになり、練習に入る前に「逆さまのクリスマス」の話をしました。子どもたちは集中して聴いてくれました。感染症の流行で6人全員が揃って練習することはできませんでしたが、24人の子どもたちが集まった当日にはしっかりと演じることができ、感謝しています。（F.T.）

★毎年クリスマス前に研修を受けているものの動き出しが遅れ、他の行事と重なって告知がほとんどできませんでしたが、直前に近所の小学校でチラシを配りました。来会したのは子どもの習い事の友達親子（中国人）一組だけでしたが、初めての来会で良い種まきになったと感じています。神様がこの小さな結果を豊かにしてくださるという確信が与えられています。CPCのほか、教会のシュートレン教室に来た方の子ども達にも、研修を受けた教会の子どもが暗唱聖句を通して伝えることができました。今年度から教会に定着している3人の子ども達もクリスマスのお話を知らなかったため、良い学びとなりました。また、ホームスクールをしている我が子やもう1人の子にとっても、普段の学びをアウトプットする良い機会でした。この教材を用いることができたことを心から感謝しています。（A.Y.）

★信じた小1男子は未信の母とともに参加し、翌週も続けて参加できたので、集会中に皆の前で証しことができました。クラスにとって祝福となりました。(T.T.)

★公園では集中力に限界があるため、お話を15分ほどにまとめて行いました。12月4日には2人の男の子が熱心に聞き、素直にイエス様を信じたいと応答しました。12月11日はさらに短く語りましたが、家畜小屋で生まれたイエス様が十字架にかかれた理由を伝えると、子どもたちは素直に信じる応答してくれました。12月18日は家で更に練習してから大きな公園へ行き、声をかけた4人が聞いてくれました。途中で3人は帰りましたが、最初に来た子がイエス様を信じました。翌週は雨でできなかつたため、この日に語れたことを感謝しています。その後、別の子にも話しましたが「罪がないと思う」とのことで祈りには至らず、いつか思い出して自ら祈れるよう祈って終わりました。(T.M.)



★講習会には参加できませんでしたが、教材が与えられ、子どもたちにお話しできたことを感謝しています。来月5歳になる女の子が家に帰って「イエス様ありがとう」と言い、プレゼントのチョコレートをイエス様にあげると言ってテーブルに置いたと聞き、なんと美しい心だろうと感激しました。また、日曜日のクリスマス礼拝には、50年前の日曜学校の生徒さんが娘さんを連れて茨城県から来てくださり、「さかさまのクリスマス」の話の童心に戻って聞いてくださいました。素晴らしい教材に感謝しています。(S.K.)

★主人がお話を進め、私はパペットを操って合の手（「イエスってどんな意味があるの？」など）を入れる役でした。途中で子どもの妨げに遭いましたが、復習問題にはちゃんと答えていたので、聞いていたのだと感じました。楽しかったと言ってくれた友達もいて良かったです。(N.I.)

★12月6日に教会で子どもクリスマスを行い、映画を見た際に翌週のCSで企画した「逆さまのクリスマス」を案内しました。新しい子どもたちは来られませんでした。いつもの子どもたちに教材を用いて福音を語ることができました。招きの時に1人の子と目が合いましたが、恥ずかしそうにそらしてしまい、まだ個人的に確認できていません。Zoom講習会に参加して祈りつつ準備を進め、CPCのことを牧師夫人に分かち合う中でぜひやりましょうと励まされ、実施に至りました。次につながる良いきっかけになったことを感謝しています。(K.C.)

★12月25日、近くの公園で行いました。遊んでいた、5年生と6年生の男の子が10名、参加しました。賛美と祈りとレッスンで福音を伝えました。復習ゲームの紙コップのツリー倒しは、とても盛り上がりました。集った子どもたちは、クリスマスの意味をまったく知らなかつたので福音を伝えることができました。(Y.Y.&K.Y.)

★12月20日に公園で子どもクリスマス会をしました。6名の5年生の子どもが、以前に学んだCPCの紙芝居を最後まで聞いてくれて、イエスさまを心にお迎えする祈りをしてくれました。(S.K.)

★「さかさま」というテーマは新しい視点を与えてくれ、数字つなぎのカウントダウンやマイナス得点ゲームで子どもたちの興味を引くことができました。合言葉「神様は私を愛してる！」は普段のCSでも使用したいぐらい参加者が一体化出来るツールで、子どもも大人もキリストにあって一致する恵みを体験しました。テキストやサポート体制が十分に知られていないのは惜しく感じました。三回行うことはチャレンジであり強制されないと福音を語れないスタッフ(自分)の弱さも考えさせられました。その事が教会の外で未信者の方々の家庭の扉が開放されるチャンスにもなることに驚かされました。(N.N、K.M.)



2026年イースター準備会

今年のイースター準備会では紙芝居教材「かけがえのない真珠」を使って行うイースターの集会の実演を致します。下記の日程で開かれます。どなたも参加できます。

対面

- ▶3/3 (火) CEF本部 (茨城県小美玉市)
10:30-12:00
- ▶3/7 (土) 東北支部 (福島県いわき市)
10:30-12:00
- ▶3/8 (日) 浅川国際キリスト教会 (八王子市)
14:00-16:00
- ▶3/10 (火) 淀橋教会 (新宿区)
10:30-12:00
- ▶3/17 (火) 中村家家庭集会 (八王子市)
12:00-15:00

オンライン

- ▶3/6 (金) ZOOM 19:30-21:00



お申し込みはQRコードから

紙芝居教材「かけがえのない真珠」



インドの年老いた真珠取りは、宣教師からイエスさまについて聞いても、信じるだけで救われることが信じられません。しかし、息子を失った経験を通して、「救い」は神さまからのかけがえのない贈り物であることを知ることができました。



会計報告 尊い献金を心から感謝いたします



献金 (25年8月-26年1月)		収入 (8-1月)		支出 (8-1月)	
8月	636,100	献金	5,997,843	人件費	4,470,555
9月	1,899,500	謝礼	65,000	運営・管理費	2,241,215
10月	938,063	教育部	146,500	什一献金	398,975
11月	588,860	教材売上	181,886		
12月	1,236,620				
1月	698,700				
合計	5,997,843	合計	6,391,229	合計	7,110,745

CEF(児童福音伝道協会)は、福音を聞かずにいる子どもたちをキリストに導き、霊的成長を助け、福音的教会に結びつけるためにキリストのからだなる教会に仕える組織で、諸教会および主にある兄弟の祈りと献金により支えられ、奉仕しています。

発行日/2026年3月1日 発行/日本児童福音伝道協会 〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

No.159/2026 春号

Tel (0299)28-2031 Fax (0299)28-2028 振替 00160-1-59313

Email japancef@cef.or.jp ホムンヂ http://www.cefjapan.com

発送物について

郵送料の大幅な値上げに伴い、ニュースや祈禱課題の発送料金が上がりました。メールマガジンに切り替えて頂ける方は下記のQRコードからフォームにて登録していただけますと幸いです。紙の祈禱課題を用いてお祈りして下さっている皆様には、従来通りお送りいたします。



働き人を募集しています

日本CEFでは、子ども伝道に重荷を持っておられる働き人を募集しています。子どもたちに福音を伝える働きに、共に仕えてくださる方をお待ちしています。詳細はホームページでご確認ください。

「そして彼らに言われた。
『収穫は多いが、働き手が少ない。
だから、収穫の主にも、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。』
(ルカの福音書 10:2)」

お問い合わせは本部まで：
japancef@cef.or.jp



CEF世界祈禱日

2026年の世界祈禱日は11月4日(水)です。